



赤旗 読者通信 改題

2023. 11. 26  
通巻No.1627

日本共産党  
小矢部市委員会

市内七社 245  
Tel 67-4322  
Fax 67-4842

何でも  
ご相談を



市議会議員  
上田由美子  
☎ 68-2106  
Fax 68-2146



参議院議員  
井上さとし



前衆院議員  
藤野保史

禁無断転載  
複写配布

# ガザでの虐殺 ただちに停止を

## イスラエル大使に要請 憲法を守る 小矢部の会

憲法を守る小矢部の会は11月18日、市民交流プラザで開いた「憲法カフェ」でパレスチナ問題を話し合い、その場からイスラエル駐日大使宛に、「ガザでの虐殺を直ちに停止してください」とメールを送り、20日にはファックスで送信しました。その要請文を紹介します。

イスラエル国駐日大使

ギラッド・コーヘン閣下

### ガザでの虐殺を直ちに停止してください

私たちは、富山県小矢部市において、「平和主義・基本的人権の尊重・国民民主権」を柱とする日本国憲法を大切にまもり、その理想を実現するべく努力している市民の集まりです。

その活動の一つとして、ほぼ月に一度「憲法カフェ」という会合を開いています。本日11月18日、主にインターネットを通じてパレスチナ問題の歴史を学び、パレスチナ問題について話し合いました。それには長く複雑な歴史的経緯があり、簡単な解決方法がないことは分かります。

イスラエル・パレスチナ双方にそれぞれの主張があることは理解しますが、しかしいま、ガザで行われている爆撃や地上での攻撃はあまりにも非人道的であり、正視するに耐えませぬ。このジェノサイドとも言べき攻撃を直ちに停止し、一般市民の安全を確保したうえで、食料や燃料、医療品の補給、インフラの応急的な回復などを行うべきです。

10月7日、ガザに本拠をおくハマスのイスラエルへの侵入により始まった今回の紛争が拡大の一途をたどり、とりわけ、ガザに対する貴国軍の激しい攻撃によって、ガザの一般市民、女性や子どもたち病人などの社会的弱者が傷つき殺されています。

「平和憲法」と呼ばれるわが日本国憲法は、その前文で「全世界の国民がひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有する」と宣言しています。この憲法を持つことを誇りとする日本国の一員として、ガザにおける攻撃を直ちに停止し、国際世論の大勢に従うよう貴国政府に伝えることを要請いたします。

2023年11月18日 憲法カフェ 参加者一同 憲法をまもる小矢部の会

## 高温障害による減収対策を 桜井市長に要請

農民連小矢部支部

農民連小矢部支部(支部長・辻慶輝氏)は桜井市長に11月17日、今年高温障害と減収による農家の収入減少対策、及び豪雨による二次災害への支援要請をしました。



### 「何らかの対応をしたい」 桜井市長

市長からは「12月に国の支援交付金の全容が見えてくるので、それらを見ながら、何らかの対応をしたい」との発言がありました。

### 豪雨災害にともなう

### 二次被害への支援も

7月の豪雨による被害対策として、この災害で水が入らなくなった圃場の米はJAへ持ち込んだりも、全て等外扱いとなりました。実際にその被害を受けた方を交えて、この二次被害への支援も申し入れました。



市長からは、「国の激甚災害に指定されない小規模災害は地元負担が発生することから、こうした山間地の農家からは、離農の声もあがっている。市としては、これを防ぐために、5年間は営農していたことを条件に、復旧費用の全額を市の負担で賄うことにした」という説明がありました。農民連小矢部支部では減収や等級下落、豪雨による二次被害対策など「市の基幹産業である農業に希望を持って取り組める支援を」と要請しました。

日本共産党演説会

## 富山で熱く語る



YouTubeで 田村智子副委員長



田村参院議員(タムトモ)は寄せられた質問に答えて語りました。質問毎に場面を選べます。トップ画面下の「もっと見る」、もう一度「もっと見る」で演説の順番表が出ます。その青字の時間をクリックするとその場面へ飛びます。